

エコアクション21

レンティアグループ 環境経営レポート2023



- 対象期間 : 2023年1月1日～2023年12月31日
- レポート発行 : 2024年5月1日

目次

1. レンティアグループ事業概要
2. 環境ポリシー
3. 環境活動推進体制
4. 環境活動取組内容
5. 環境経営中期目標（環境負荷）
6. 環境経営目標（環境負荷）の2023年度実績評価
7. 環境経営目標（環境負荷）の2023年度実績評価（詳細）
8. 独自環境経営目標（各事業会社）の2023年度実績評価
9. 次年度の環境経営目標（環境負荷）
10. 次年度の独自環境経営目標（各事業会社）
11. その他の環境取組み
12. 主な環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反・訴訟等の有無
13. 代表者による全体評価と見直し

1. レンティアグループ事業概要

● 認証登録事業者

事業者名	コーユールンティア株式会社
本社所在地	〒105-0004 東京都港区新橋6-17-15 菱進御成門ビル6F
設立	1970年(昭和45年)10月
代表者	代表取締役社長 梅木 孝治
資本金	9億1,028万円
売上高	190億2,517万円 (2023年12月期 単独)
従業員	394名 (2023年12月末 単独)
事業内容	*FF&Eレンタル業。 建設業界・不動産業界・イベント業界をはじめ、国内外の企業向けにFF&Eをレンタル。 *furniture, fixtures and equipment (家具、什器、備品)



●グループ事業会社紹介

レンタル関連事業



●コユーレンティア株式会社

レンティアグループが展開する「FF&Eレンタル業」の中核事業会社。
建設現場事務所や不動産販売センター、各種イベント、一般企業向けレンタルなど、多彩なマーケットに対応。
オフィス家具を始め、備品や家電品、OA機器など、多種多彩な商品を揃え、空間プランニングを含めたレンタルのトータルソリューションをご提供しています。

●コユーロジックス株式会社

日本全国に物流拠点を整備し、レンタル備品の配送、保管を請け負う事業会社。
独自の在庫管理と輸送システムを構築し、お客様のご要望に「ジャストタイム」でお応えしています。
またレンタル備品のメンテナンスやクリーニング、修理なども担っています。



スペースデザイン事業



●ONEデザインズ株式会社

マンションのモデルルーム、販売センターにおける設計・施工・デザイン・インテリアコーディネート業務から
ご契約者の方々へのインテリアコンサルティングサービスなど様々なニーズに対応した快適空間作りに取り組んでいます。

物販事業



●広友物産株式会社・広友サービス株式会社

各種事務機器とインテリア家具の企画・販売を手がける事業会社。
オフィス家具や備品などを調達し、官公庁を中心に販売するとともに、リゾート施設向けのインテリア家具の企画・開発から販売などを行っています。

ICT事業



●コユーイノテックス株式会社

オフィスなどのIT環境整備と、OA機器の保守点検サービスを提供する会社。
レンタルのトータルソリューションの一環として提供するITネットワーク構築や情報機器の調達を始め、各種OA機器の保守点検・修理、アフターサポートなどICT技術を活かしたサービスを実施しています。

2. 環境ポリシー

環境ポリシー

レンタル事業を核として
顧客のニーズにこたえ
環境負荷低減に努め
未来との共生を図る

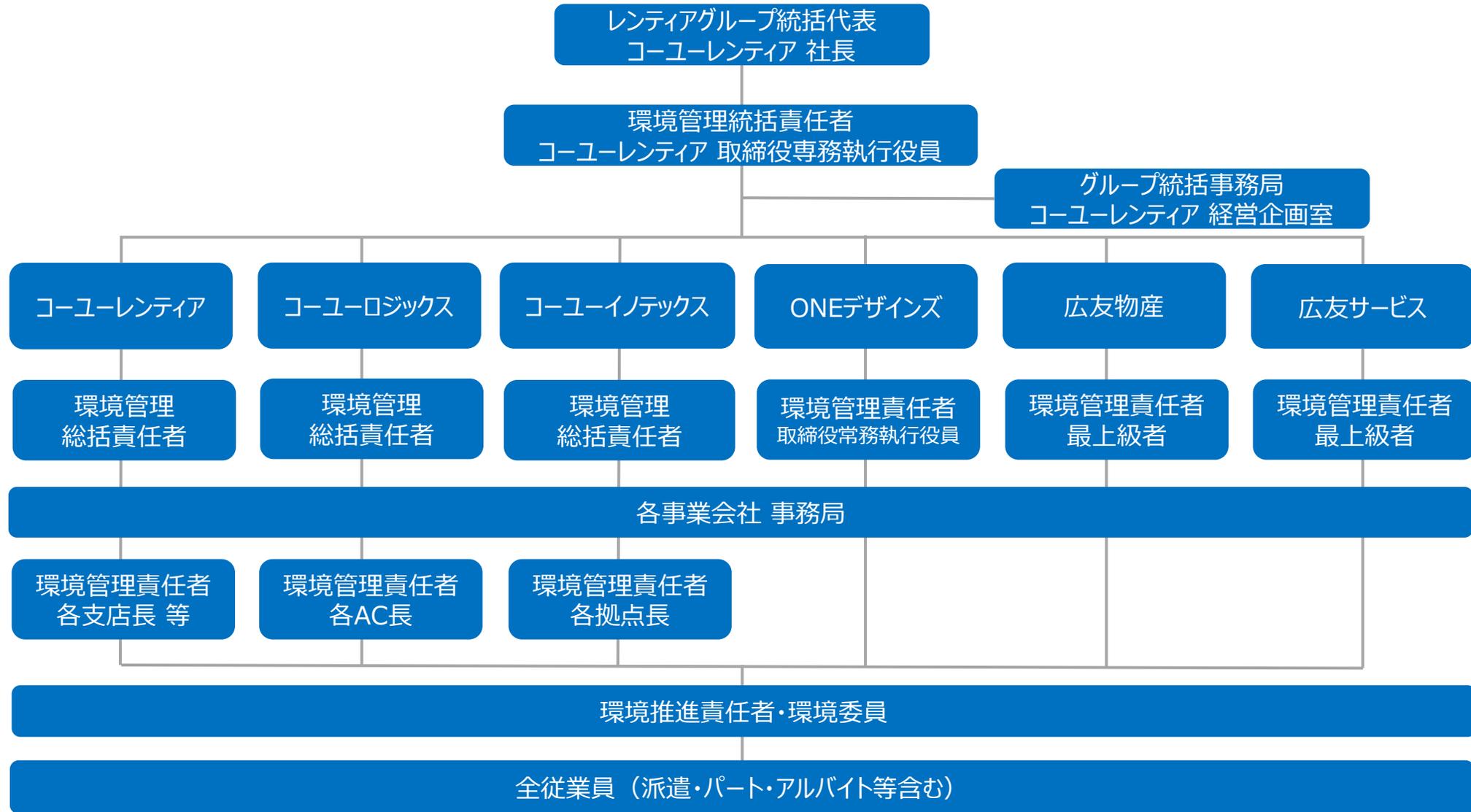
環境経営方針

レンティアグループは FF&Eのレンタル・販売を核とした
環境創造型企業として 企業活動及び社員の行動を通して 環境保全に努め
環境に配慮した商品を提供するとともに 環境法令を遵守し
資源節減 環境負荷低減を目指し 継続的改善を図る

2021年1月15日制定
コーユーレンティア株式会社
代表取締役社長 梅木 孝治

3. 環境活動推進体制

- 対象認証登録範囲：全組織・全活動・全従業員



3. 環境活動推進体制

●環境委員等の任務

役職	地位	役割
環境管理統括責任者	グループ代表の補佐及びグループの環境活動の責任者	全組織の活動全体にわたり環境経営システムの構築運用維持に関する実務を指導監督する。
環境管理統括事務局	環境管理統括責任者の補佐	グループの統制指導及び認証登録の調整
環境管理総括責任者 (レンティアとロジックス及び イノテックス)	会社代表の補佐及び会社の環境活動の責任者	代表者を補佐して会社複数拠点の取組状況を指導監督する。
環境管理責任者 (ONEデザインズ、広友物産)	会社代表の補佐及び会社の環境活動の責任者	代表者を補佐して会社拠点の取組状況を指導監督する。
事業会社事務局 (員)	環境管理責任者の補佐	事業会社全体の統制指導及びグループEA21事務局との調整 1 環境方針、中期環境目標の策定 2 環境組織体制の確立 3 会社の年度環境目標と活動計画の作成 4 会社環境関連法規の作成 5 統制拠点の計画及び成果の指導評価 6 会社全体の評価見直し
環境管理責任者 (拠点)	拠点の環境活動における責任者	グループ及び事業会社の環境方針・目標を受け、拠点内の取組状況を指導監督する。
環境推進責任者	拠点内の環境取組みに対する統制調整者 (実質的な拠点の環境活動のまとめ役)	1 拠点の環境活動の計画・実行・確認評価のまとめ 2 環境委員会を招集して、会の進行・運営を行う 3 期毎の環境負荷実績の分析表を作成して、評価・判定を行う
環境委員	EAの各種取組毎の担当者	環境推進責任者の指示の下、他の委員と協力し、拠点の環境活動を実施する。

4. 環境活動取組内容

当グループの環境活動取組内容は以下の通りです。



● CO₂

【電気】

- ①部分消灯・業務時間以外の消灯
- ②No残業Dayで使用時間削減
- ③空調機器の適正な温度設定
- ④再生可能エネルギーの活用

【ガソリン】

- ①エコドライブの推進
- ②効率的な営業計画の策定
- ③燃費の良い営業車種の選定



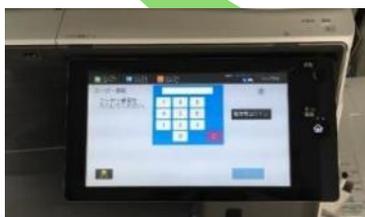
● 廃棄物

- ①廃棄区分の明確化
- ②環境啓発運動の実施
- ③マイ〇〇の推進
- ④リサイクル率の向上



● コピー用紙削減

- ①情報セキュリティを考慮した両面使用
- ②ITツール利用によるペーパーレス
- ③カウンタ使用によるプリンタ使用削減



● 水

- ①節水喚起
- ②洗濯機の効率利用

● 環境教育

- ①資格受験対策講座（勉強会）の実施
- ②拠点委員会による資格の受検推進
- ③環境推進企業の見学



● その他

- ①グリーン購入等、エコマーク商品の優先購入
- ②地域の清掃活動への参加
- ③ペットボトルキャップ・使用済み切手の寄附
- ④全拠点でのSDGsへの取組み

5. 環境経営中期目標（環境負荷）

取組項目		単位	中期 基準年度	年度目標（基準年度比）			
			2022年度 実績	2023年度 目標値	2024年度 目標値	2025年度 目標値	2026年度 目標値
二酸化炭素の 削減	電力使用量	MWh	1,769	1,751 (▼1.0%)	1,734 (▼2.0%)	1,716 (▼3.0%)	1,698 (▼4.0%)
	ガソリン使用量	kℓ	105	103 (▼2.0%)	101 (▼4.0%)	99 (▼6.0%)	97 (▼8.0%)
	CO ₂ 排出量	t-CO ₂	610	586 (▼4.0%)	561 (▼8.0%)	537 (▼12.0%)	512 (▼16.0%)
水使用量		m ³	4,614	4,568 (▼1.0%)	4,522 (▼2.0%)	4,476 (▼3.0%)	4,429 (▼4.0%)
廃棄物排出量		t	1,460	1,445 (▼1.0%)	1,431 (▼2.0%)	1,416 (▼3.0%)	1,402 (▼4.0%)
コピー用紙使用量		万枚	315	312 (▼1.0%)	309 (▼2.0%)	306 (▼3.0%)	302 (▼4.0%)
化学物質使用量			化学物質使用量の把握と適正な管理				
エコプールの育成 (eco検定合格者数)		人	30	30	30	30	30

6. 環境経営目標（環境負荷）の2023年度実績評価

取組項目		単位	2022年度 実績値		2023年度目標値 (基準年度比)	2023年度実績 (目標値との比較)	対目標達成率／評価	
二酸化炭素の削減	電力使用量	MWh	1,769	1,751 (▼1.0%)	1,822 (▲4.1%)	96.1%	★★	
	ガソリン使用量	kℓ	105	103 (▼2.0%)	107 (▲3.9%)	96.3%	★★	
	CO ₂ 排出量	t-CO ₂	610	586 (▼4.0%)	608 (▲3.8%)	96.4%	★★	
水使用量		m ³	4,614	4,568 (▼1.0%)	5,485 (▲20.1%)	83.3%	★	
廃棄物排出量		t	1,460	1,445 (▼1.0%)	1,159 (▼19.8%)	124.7%	★★★	
コピー用紙使用量		万枚	315	312 (▼1.0%)	294 (▼5.8%)	106.1%	★★★	
化学物質使用量			化学物質使用量の把握と適正な管理			—	適切に 管理できた	
エコプールの育成 (eco検定合格者数)		人	30	30	54	180%	★★★	

* 電力は2020年度の電気事業者別二酸化炭素排出係数を使用

北海道電力:0.549 東北電力:0.457 東京電力:0.441 中部電力:0.377 関西電力:0.350 中国電力:0.521 四国電力:0.569 九州電力:0.479 沖縄電力:0.705

* 評価基準：～89.9% ★、90.0～99.9% ★★、100%～ ★★★

7. 環境経営目標（環境負荷）の2023年度実績評価（詳細）

1. 環境負荷削減取組み全体

環境負荷削減取組みにおいては、目標を達成できた環境負荷項目もありましたが、以下の活動等が増加し全体としては前年度同水準に留まりました。

- ・対面での営業活動
- ・社有車の、使用および遠方への営業活動
- ・業務増による残業
- ・在宅勤務から出社対応へ切り替え

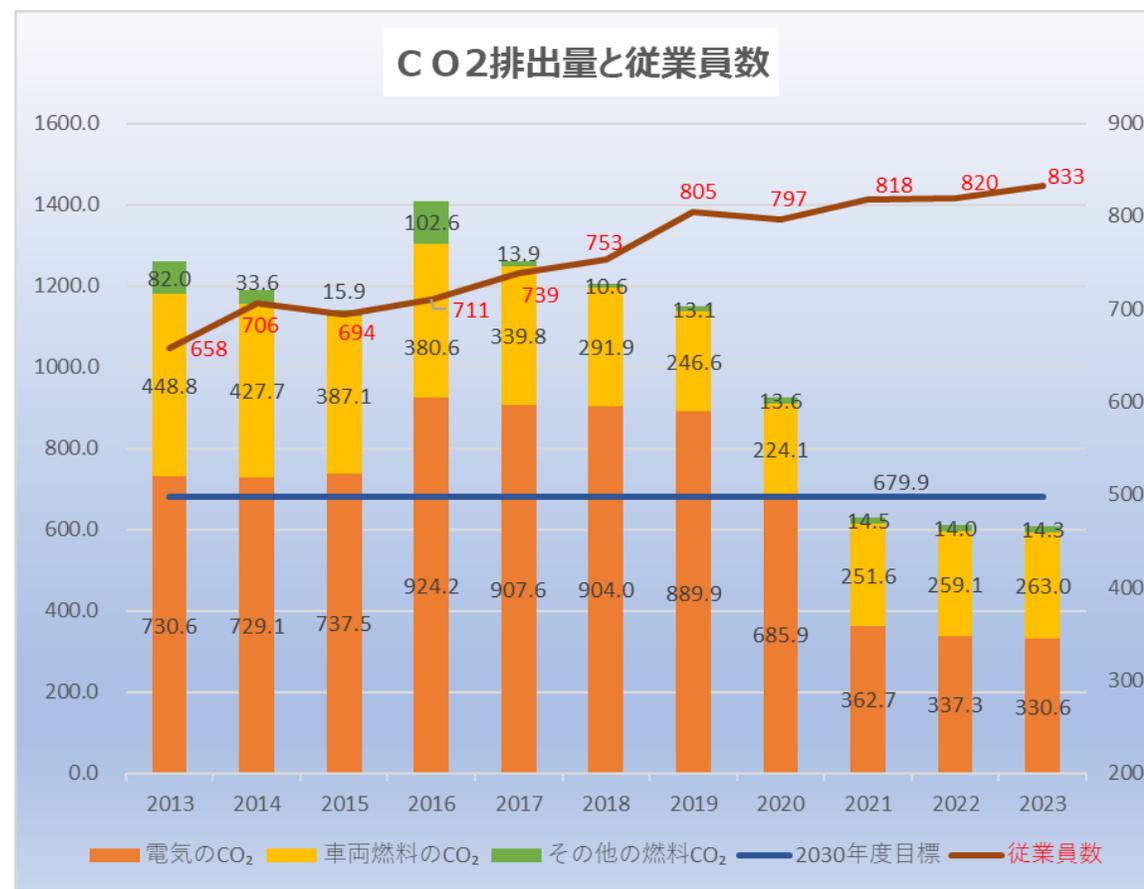
2. 主要な項目

①CO2排出量

目標値：586t-CO2 → **実績値**：608t-CO2
達成率：96.4% **評価**：★★

分析・評価：
グループ全体のCO2排出量は、目標の前年度比4%削減には至らなかったものの、前年から2t-CO2削減できました。増加した拠点・削減できた拠点、どちらもありましたが、新たに再エネ100電力へと切り替えた拠点もあり、削減に貢献しました。

※右グラフの「2030年度目標」は、日本の【2030年度において、温室効果ガス46%削減（2013年度比）を目指す】目標を元に、当グループの数値を表したもの



7. 環境経営目標（環境負荷）の2023年度実績評価（詳細）

2. 主要な項目

②社員一人当たりのCO2排出量（kg）

2022年度：744.4kg → **2023年度**：729.8kg

評価：★★★★

分析・評価：

グループ全体のCO2排出量は、前年度から大幅な削減はできませんでしたが、社員一人当たりのCO2排出量は、2016年から継続して削減することができました。



7. 環境経営目標（環境負荷）の2023年度実績評価（詳細）

②コピー用紙使用量

目標値：312万枚 → 実績値：294万枚
 達成率：106.1% 評価：★★★

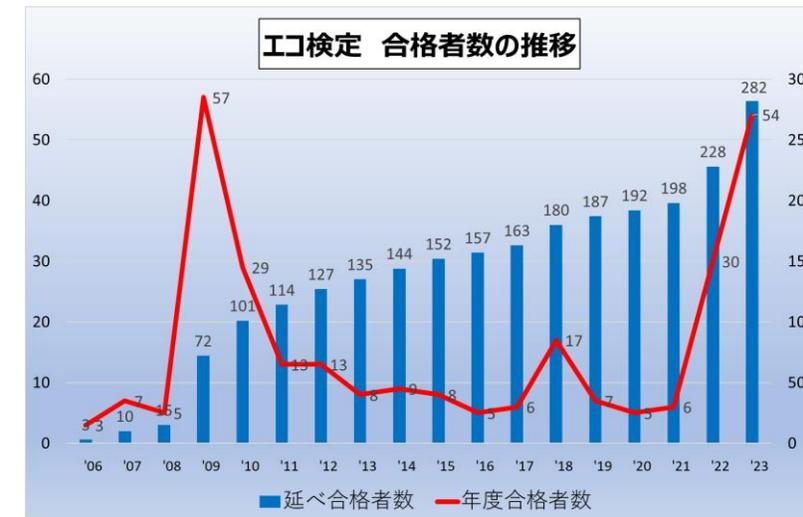
分析・評価：
 出社の機会の増加、レイアウト変更、コピー機の増加によってコピー用紙の使用機会が増えた拠点もありましたが、グループ全体ではペーパーレス化の推進等により目標を達成出来ました。



③エコプールの育成（eco検定合格者の増加）

目標値：30名増 → 実績値：54名増
 達成率：180% 評価：★★★

分析・評価：
 部門長以上を対象とした外部講師による「環境講演会」や受験対策講座を初めて実施し、eco検定の重要性について学ぶとともに、学習の機会を広く社員に提供・受験をサポートしました。また、近年社員の合格者も増加しており、社員自身の受験に対する意識の向上も更なる受験者増加につながっていると思われます。



8. 独自環境経営目標（各事業会社）の2023年度実績評価

事業会社	2023年度目標項目	目標値	2023年度実績	評価
コーユーレンティア	レンタル品AB*製品の売上向上	前年度比 4.2%以上増加	10.1%増加	★★★
コーユーロジックス	処分品の再商品化	前年度比 3.6%以上増加	9.8%増加	★★★
コーユーイノテックス	レンタル品AB製品の売上向上	前年度比 10%増加	22.6%増加	★★★
ONEデザインズ	①レンタル品AB製品の売上向上 ②ONEデザインズで保有しているFF&Eを使った事業での納品件数向上	①前年度比 1%増加 ②前年度比 1件増加	①3.9%増加 ②79件→80件 (1.3%増加)	★★★
広友物産・広友サービス	抗ウイルスコーティングサービスの展開	受注件数20件以上	15件	★

*レンタル品ABはコーユーレンティアが複数回レンタルする主力商品

各事業会社は、取り扱う製品やサービスの特性を活かした目標を掲げて環境経営に取り組みました。感染症の落ち着きにより、抗ウイルスコーティングサービスの需要は低減しましたが、建設の大型案件の受注やイベント需要の増加によりレンタルにおける営業活動が活発化し概ね目標を達成することができました。今後は、これまでの『三方よし』に未来を加えた『四方よし』の精神に基づき、サステナブルな社会の実現に貢献する目標を設定し、その達成に向けて尽力していきたく思います。

9. 次年度の環境経営目標（環境負荷）

取組項目		単位	基準値 (2022年度実績)	目標	2024年度 の取組み (計画)
				2024年度 目標値	
二酸化炭素の削減	電力使用量	MWh	1,769	1,734 (▼2.0%)	<ul style="list-style-type: none"> ・従前からの取組み徹底（継続実施） ・再エネ電力への切り替え ・太陽光発電パネルの設置 ・eco検定勉強会の実施、取得の推進
	ガソリン使用量	kℓ	105	101 (▼4.0%)	
	CO ₂ 排出量	t-CO ₂	610	561 (▼8.0%)	
水使用量		m ³	4,614	4,522 (▼2.0%)	
廃棄物排出量		t	1,460	1,431 (▼2.0%)	
コピー用紙使用量		万枚	315	309 (▼2.0%)	
化学物質使用量			化学物質使用量の把握と適正な管理		
エコプールの育成 (eco検定合格者数)		人	30	30	

10. 次年度の独自環境経営目標（各事業会社）

事業会社	2024年度目標項目	目標値
コーユーレンティア	統制目標：レンタル品AB*製品の売上向上 任意目標：各拠点による	各拠点による
コーユーロジックス	処分品の再商品化	前年度比 2.0%増加
コーユーイノテックス	会社全体：レンタル品AB製品の売上向上 拠点毎：各拠点による	前年度比 10%増加 各拠点による
ONEデザインズ	①レンタル品AB製品の売上向上 ②ONEデザインズで保有しているFF&Eを使った事業での納品件数向上	①前年度比 1%増加 ②前年度比 1件増加
広友物産・広友サービス	抗ウイルスコーティングサービスの展開	受注件数 8件以上

11. その他の環境取組み

● 創業60周年記念樹 木育活動



レンティアグループでは2017年5月に創業60周年を記念して、東京都檜原村に15本のヒノキ苗を植樹しました。前年から更に高く、幹も太くなり、毎年成長に驚かされます。



プロジェクトが完了する30年後に美しい森林を残すため、今後も枝打ち等の整備を実施していきます。

グループと共に成長するヒノキが楽しみです。

● 環境配慮型商品の企画・開発

レンタル商品の「サステナブル設計」や「環境配慮素材」の活用などを通じて、当社オリジナル商品を企画・開発し、環境配慮型商品の強化を図っています。

カバーを簡単に付け替えられるソファ



再生ポリエステル糸を使用したチェア

● 社有車のエコカーへの切り替え、増加

グループ全拠点の社有車のガソリン普通車を随時環境配慮車へ移行し、CO2排出量の削減に貢献。

● 主要配送車両排出CO2のカーボンオフセット

地球温暖化対策への貢献とレンタルサービスの価値向上を目的として、コーユーロジックス株式会社の主要トラック（約60台）が配送時に排出した2023年分のCO2について、カーボンオフセットを実施。サプライチェーンに関する脱炭素は初めてです。

商品開発から営業、物流までをバリューチェーンとして捉え、脱炭素に向けグループ一体として取組みを強化していきます。



オフセット証書

● 外部講師による講演会・勉強会

世界や日本、他社の動向について勉強し知識を身につけ、今後の業務に活かすため、執行役員および部門長を対象とした「環境講演会」を実施。意識の向上および知識を深める機会となりました。



また、eco検定の取得率向上を目指した「受験対策講座」も実施。リモートも活用し、全国から多くの社員が参加、専門家による分かりやすい解説で熱心に取り組んでいました。

11. その他の環境取組み

● 2023環境月間（概要）

社員の環境問題に対する意識の向上と活動の活性化を促す目的で、2018年6月よりグループ全社員を対象とした環境取組みである「環境月間」を実施しています。多くの活動報告がある中から、グループ代表（コーユーレンティア社長）等による選考で、金賞をはじめとした各賞に9つの活動が選ばれました。

～初めての試み ①「プレゼン大会」～

最終選考では、一次選考から選ばれた各活動について、本人たちによるプレゼン大会を初めて実施。実際に清掃活動をした海岸から生中継があるなど、工夫を凝らしたプレゼンもありました。



～初めての試み ②「木製トロフィーと楯」～

受賞活動へ贈る「木製トロフィーと楯」をオリジナルデザインで製作しました。木材は創業60周年記念樹を植えた東京都檜原村のヒノキ材を使用し、当グループの環境取組みを一層感じてもらえるものになりました。

現在トロフィーは金賞を獲得した九州拠点にあります。今後、金賞を受賞した拠点・チームへ持ち回りとなります。



創業60周年記念樹を植えた
東京都檜原村のヒノキ材を使用



2023年度金賞
九州拠点環境委員の皆さん

11. その他の環境取組み

参加者

～参加人数～ 492名 (延べ854名)

～参加率～ 59.3% (昨年より3%UP)

各賞の紹介

【金賞】 未来のためにできること ～脱炭素社会の実現に向けて～ (九州拠点)



内容：福岡市環境局脱炭素社会推進部から講師をお招きし、『脱炭素社会』について講座を実施

【サステナビリティ賞】 フォトコンテスト (関西支店)

内容：後世に残したい自然豊かな風景・環境汚染などに対する警告的な風景、環境にいいもの・悪いもの問わず「おっ!？」と思った景色の写真を撮影



【銀賞】 みやぎスマイルビーチ・プログラムへの参加 (東北拠点)



内容：
コーユ+協力会社の計6社でこのプログラムに登録し、年2回の清掃活動を実施

【銅賞】 「2023クリーンアップ日本海inISHIKARI」参加 (札幌拠点)



内容：
石狩浜海水浴場のゴミ拾い活動

【その他】

- ・BESTチームワーク賞
- ・BESTクリーン賞
- ・BESTカイゼン賞
- ・エシカル賞
- ・個人賞

その他、多くの拠点で清掃活動の実施、不要クリアファイルのリサイクル、物品の寄付等、応募件数も参加社員数も前年より増加し、活動が広がってきています。

11. その他の環境取組み

●再エネ100宣言 RE Action

使用電力を100%再生可能エネルギーに転換する意思と行動を示し、再エネ100%利用を促進する新たな枠組みである、『再エネ100宣言 RE Action』に参加しています。2030年までに、事業活動に伴う電力を100%再生可能エネルギーで調達することを目指します。

再エネ100宣言 RE Action

『再エネ100宣言 RE Action』とは、使用電力を100%再生可能エネルギーに転換する意思と行動を示し、再エネ100%利用を促進する新たな枠組みです。

レンティアグループは再エネ100%を目指しています

<https://saiene.jp/>

再エネ100宣言 RE Action 協議会
グリーン購入ネットワーク (GPN)
環境共生推進機構 (E2C)
公益財団法人 環境未来国際研究所 (E2I)
国際電気エネルギーネットワーク協会 (IENE)

GPN ICLEI IGES JCLP

再エネ100宣言 RE Action ロードマップ^o



太陽光レンタル事業のノウハウ活用により自家発電で推進加速



関東エリアセンター（物流倉庫）屋上



九州エリアセンター（物流倉庫）屋上
リユースパネルを活用

12. 主な環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反・訴訟等の有無

法律名等	適用される事項（施設・物質・事業活動等）	判定	該当事業会社
廃棄物処理法	事業系一般廃棄物の収集運搬・処理の業者への委託	○	全事業会社
	産業廃棄物運搬・処理業者に委託	○	
	産業廃棄物排出事業者としてマニフェスト票の交付及び保管	○	コーユーレンティア
	収集運搬車両への表示と書類備え付け	○	コーユーロジックス
	産業廃棄物の処理状況確認努力義務	○	コーユーイノテックス
	産業廃棄物管理票交付等状況報告	○	ONEデザインズ
資源有効利用促進法	レンタル商品、販売パソコン	○	コーユーレンティア コーユーイノテックス
容器リサイクル法	過剰包装を避け、簡易包装または繰り返し使用可能な梱包資材の使用	○	コーユーレンティア
家電リサイクル法	エアコン、ブラウン管テレビ、冷蔵庫、液晶テレビ、プラズマテレビ、衣類乾燥機、電気洗濯機のレンタル製品等	○	コーユーレンティア、コーユーロジックス ONEデザインズ
小型家電リサイクル法	パソコン、携帯、DVDプレイヤー等のレンタル製品等	○	コーユーレンティア、コーユーロジックス コーユーイノテックス、ONEデザインズ
フロン排出抑制法	業務用冷凍空調機器等（会社所有の業務用エアコン他）の管理者	○	コーユーレンティア、コーユーロジックス ONEデザインズ
化学物質排出把握管理促進法	（当グループはPRTR制度に該当しないが）使用している塗料、シンナー等の把握管理	○	コーユーロジックス

当グループに適用される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。
また、関連機関等からの指摘、利害関係者からの訴訟もありませんでした。

13. 代表者による全体評価と見直し

2023年度は新型コロナウイルスの感染症法上の分類が5類となり、経済活動の復調によって、コロナ禍前に近い営業活動を行ってまいりました。レンティアグループの業績は売上高・営業利益とも前期比で増収増益となり、特に売上高は過去最高を記録いたしました。また、持続可能な社会に貢献し、企業が持続的に成長することを目的として、2023年4月にはサステナビリティ委員会を設置しました。

そのような中、温暖化抑制（環境負荷削減）の取組みは、CO2排出量については新たに再エネ100電力とする拠点の追加や全国各拠点での各種取組みを継続した結果、前年度より削減できた一方で、電気やガソリンの使用量については業務の増加により、目標数値までには至りませんでした。

社員一人当たりのCO2排出量は、様々な取組みをグループ全体で実行し、確実に減少しております。引き続き、環境経営中期目標の達成に向けた活動を実施してまいります。

「事業会社毎の独自環境取組」については、全事業会社目標達成とはなりませんでした。営業活動の強化による大型建設現場やイベント案件の受注が全体を牽引し、レンタル売上に関連する取組目標は概ね達成する事ができました。

また現地審査で推奨を受けた電子マニフェスト導入は、2023年度中に全拠点へ変更を促し、切り替えをほぼ完了させました。これにより、廃棄物処理におけるマニフェスト作成上の不備を低減することが出来るものと考えております。

一方eco検定合格者数については、部門長以上を対象とした「環境講演会」、受験対策講座の実施等による受験サポートを行い、前年度を大幅に上回る社員の受験・合格者増につながりました。

2024年度は、グループの組織体制を変更する予定です。それに伴い環境体制の整備も前年度から徐々に準備を進めており、事務局を中心に引き続きサポートを行いつつ、認証拡大を目指してまいります。

環境経営目標・計画における個々の環境負荷削減取組は、環境委員が率先遂行するとともに、『社員一人一人の行動が地球環境を支えていく』との認識を社員に浸透させ取り組んでまいります。会社毎の環境取組は、企業価値向上の観点を重視した目標設定を行い、その達成に向けて取り組んでまいります。尚環境経営方針は変更なしとし、実施体制は組織体制の変更に伴い追加する予定です。

今後も引き続きエネルギー価格高騰、物価高騰等の影響を受けることが予想されますが、エコアクション2.1の取組みを通じて、省エネルギー、コスト削減を続け、環境関連法令を遵守し、企業として社会へ貢献する為、一層の努力をしてまいります。

コーユーレンティア株式会社
代表取締役社長 梅木 孝治



●環境経営レポートに関するお問い合わせ先

コユーレンティア株式会社

経営企画室 環境推進チーム

TEL:03-6671-6479 FAX:03-5931-4201

URL: <https://www.koyou.co.jp/>